

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者の評価結果について（平成28年度中間）

1 地域活動協議会の現在の状況についての分析

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「地域課題への取組」についての分析
- (2) 「つながりの拡充」についての分析
- (3) 「組織運営」についての分析
- (4) 「区独自取組」についての分析

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・区内の地域活動協議会等の情報交換や連携の促進、多様な地域活動との連携・協働、自主財源の確保に向けた情報提供など、各地域の様々な取組に対して積極的な助言・指導の支援が行えている。 ・幅広い世代の住民の地域活動への参加・参画を促すための切っ掛けとなる場として、各種イベントへの模擬店参加などの機会を増やしていくよう、積極的な支援が出来ている。また、新たな担い手が気軽に楽しく参加できるよう、受け入れ側の理解を深めるように助言・指導を続けている。 ・開かれた組織運営と会計の透明性の確保に向け、活動に必要な事務処理を地域自身で行えるよう継続して助言・指導を行っている。

2 事業の実施内容（支援策（取組）の内容）

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「地域課題への取組」にかかる支援の提案内容
- (2) 「つながりの拡充」にかかる支援の提案内容
- (3) 「組織運営」にかかる支援の提案内容
- (4) 「区独自取組」にかかる支援の提案内容

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・自主財源の獲得に向け、地活協が行政の委託事業を受託するため、各地域の実情に合わせた事業の紹介・提案を行い、事業を受託することによるリスクや労務・税務・法務の仕組みについて助言・指導を行うなど、的確なサポートが出来ている。 ・地域間のつながり、延いては港区全体のつながりの拡充を目指し、区民まつりを始めとする各種イベントへ模擬店参加することで、自主財源の確保、新たな担い手の発掘につながっている。 ・議題の中身によって、各部会委員や担当者レベルで意見を集約し検討を重ねた上で運営委員会に諮るよう指導しており、それにより、事業にかかる意思決定プロセスが広く周知されることに繋がっている。

3 事業の実施体制等

評価項目

- (1)自由提案による地域支援の提案内容
 (2-1)スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる提案内容
 (2-2)フォロー(バックアップ)体制等にかかる提案内容
 (3)区のマネジメントに対応した取組にかかる提案内容

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主財源の獲得に向けた取組として、行政の委託事業の受託や企業を含めた助成金申請、クラウドファンディングを活用した寄付金獲得方法など、様々な手法について、地域の実情に合わせ紹介・提案等を行い、地域が自発的に動けるような支援が出来ている。 ・ スタッフ全員が集まる機会は限られているが、曜日を決めた情報交換の場やメール等の活用で、情報の共有が出来ていた。 ・ 必要に応じてローテーションを組み替えるなど、柔軟な対応が出来ている。 ・ 区政会議、課の定例会、合同地域会長会などに参加し、積極的に情報収集に努めており、まちづくりセンター内に留まらず、区担当者との情報共有も図れている。

4 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策(取組)(5つ以内)

評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策(取組)

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地域のつながり、延いては港区全体のつながりの拡充を目指し、新たな担い手の発掘につながる各種イベントへの模擬店参加を始め、幅広い世代の住民に地域活動へ参加してもらう切っ掛けとなる場を増やしていく等、効果的な支援が出来ている。 ・ 各地域の実情に合わせた方法により、開かれた組織運営のあり方等について適切に助言・指導を行うとともに、継続的な組織運営を意識し、会計事務を始めとした組織運営にかかる事務について、一部の担当者に負担がかかっている実情を踏まえ、地域で自主的に勉強会等が行えるよう、効果的な支援が行えている。 ・ 地域の防災訓練などの開催に向けた支援を行い、防災意識の向上を図る取組の支援を行い、また、区外の地活協から避難訓練の見学依頼があるなど、区の垣根を越えた交流が出来ており、効果的な支援が出来ている。

5 現時点での支援策(取組)の実施状況に対する区の評価及び意見

評価項目

- (1)現時点での支援の実施状況
 (2)上記を受けた、年度後半の支援についての考え

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自律運営に向けた的確な助言・指導が出来ており、常に地域に寄り添いながら、それぞれの実情に合わせた適切な支援を行うことで、地域からの厚い信頼を得ている。 ・地域運営にかかる共通課題である「人材不足の解消」「自主財源の確保」についても、具体的な解決策を示しながら地域とともに検討することで、自発的に取り組める体制確保に向けた効果的な助言・指導が行えている。 ・今年度の目標である、ステージ2の10項目については、全て達成している地域はないものの、3地域が半分以上達成しており、概ね順調に進捗出来ている。今後もステージ2、3の達成に向け、効果的な支援を行うことを期待する。

6 総合評価

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・活動、運営支援全般において、各地域の実情に合わせた的確な助言・指導が出来ており、地活協自らが事業の見直し・統廃合・新規検討などに積極的に取り組める体制が出来上がってきた地域もある。一方、地活協が発足して4年目を迎える中、地域によっては、古くから地域活動に関わってきた役員等の中に、未だ行政依存的な意識が強く、地活協に対しての理解が十分ではない方も少なからず存在する。そして、そのことにより、中堅・若手の新たな担い手が、地域活動について率直な意見を表明しがたい状況にあり、地活協の活性化の阻害要因になっている。今後、更に地活協の活動を充実・発展させるためにも、活動の目的が、まず、地域課題の解決にあること、そのために人材や財源の確保が必要であるとの基本的な理解を、区役所と連携して、改めて説明が必要な方々に対して浸透させることに重点を置きながら、引き続き支援していくことを期待する。

(評価基準)

S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた

A：本市の求める水準以上の効果が得られた

B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた

C：本市の求める水準の効果が得られていない